✻アベリア

Flower Guide
by FamiliaFort

アベリアはスイカズラ科の半常緑性の低木で、見た目がウツギに似ていて、プロペラのように広がる５枚のがくが花後も残り、羽根つきの羽根のように見えるため、和名はハナゾノツクバネウツギ（花園衝羽根空木）といいます。

長三角形で光沢のある濃緑色をした小ぶりの葉が茂り、釣鐘状の白色やピンク色の小さな花を咲かせます。

細い枝をたくさん伸ばしてよく茂り、刈り込んで色々な形に仕立てられるので、生垣のほか、公園や道路脇の植込にもよく植えられています。

コンパクトで好みの大きさに剪定することができるほか、開花時期が長く、斑入りの葉が茂る品種もあり、観賞価値も高い園芸種です。

お手入れメモ

アベリアは、半常緑ながら寒さに強い優秀な園芸品種で
形を整える程度の剪定以外はほとんど手がかかりません。

＊開花時期	５月から 10 月
＊特性	日当たりがよい場所を好みます。
＊水やり	特に必要ありませんが、夏の高温期には、朝か夕方に水やりをします。
＊その他	特に土質を選ばず害虫病もほぼありません。さし木で簡単に増やすことができます。